



事務事業名	桜川市文化協会助成事業	事務事業No.	30201000622	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
岩瀬・大和・真壁地区の文化協会が合併を機に桜川市文化協会を設立。市の芸術文化の向上、振興をはかるためにはじめた補助事業。平成28年度より7つの専門部を中心に活動を行うと共に、部門ごとの連携を行うようになった。平成28年度においては、本協会初の主催事業を開催。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
組織構成員が高齢化しているため、協会としての組織運営、庶務(事務)が困難な部分が多い。そのため、事務局（行政担当）の協力、助言が必要。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	市民文化祭の交流を通じて、音楽や芸能関係団体は、横の連携が取れるようになった。一方、いけばな展など、「高齢化」や「会場の地域性」を理由に依然として支部独自性を地元開催に固執する意識が見受けられる。意識や趣味の共有化、交流会など、統合または統一事業を展開できるよう、行政として指導助言を行って行く。平成28年度からの組織再編制に向け、会員の意識付けとして平成27年度の市民文化祭は、専門部ごとでの開催を実施した。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市総合計画の政策に合致している
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 規約をもつ団体として組織が確立されており、補助金の交付条件（会員からの負担金徴収）を満たしている。文化行政施策、文化振興を支える貴重な組織である
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 平成28年度より支部制を廃止し、各部門制に組織再編を実施。各部門間の連携を図ることで、活動内容の質の向上を図ることができる
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の文化振興行政を支え、施策、計画等の指針となる組織の一つである。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的手段、事務事業名   市民文化祭事業 桜川市市民文化祭実行委員会と連携ができる
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各専門部の事業計画等に応じて補助金を計上している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員から負担金を徴収しており、各専門部の予算にそって補助金を計上、交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・各専門部において、事務局（行政）からの指導を必要とする部分はまだ多い。組織全体としては、自立化しようとする動きもみられる。桜川市文化協会主催事業を始めて実施し、事業開催に携わった役員については組織力の必要性を認識できた。専門部独自の活動も行われ、部間の交流もできてきており、文化振興の内容が深まってきていると思われる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
組織再編によって、各専門部での活動が中心となってきたが、旧支部制の独自性を主張する意見が少なくはない。各部において、意識や趣味の共有化、意見交換会などを行い、「桜川市の文化」向上を図る指導が、引き続き必要である。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>